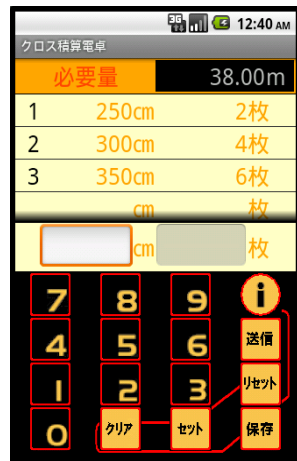


クロス積算電卓 操作ガイド

【採寸データの入力】(A)



<長さ・枚数の入力(最大50行まで入力可能)>
 長さを数字キーで入力し、セットキーをタップします。
 枚数を数字キーで入力し、セットキーをタップします。
 必要量の欄に長さ×枚数の合計を表示します。

<必要量の表示の変更>
 必要量の欄をダブルタップします。
 必要量m²→m³金額→m金額→必要量mと表示が変更されます。

<長さ・枚数の修正>
 修正したい履歴行をダブルタップします。

<要尺設定画面の表示>
 右にスワイプする。→ (C)

<現場入力画面の表示>
 左にスワイプする。→ (B)

[キーの説明]
 セットキー・・・長さ、枚数を確定した場合に使用します。
 クリアキー・・・入力欄でカーソルがある長さか枚数を消す場合に使用します。
 保存キー・・・長さ、枚数、必要量を保存します。
 m²単価・m³単価・3つのチェックボックス、現場名、部屋名、箇所、品番
 リセットキー・・・表示欄の末尾を削除する場合に使用します。
 リセットのタップを長押しすると、履歴画面から採寸データの入力に戻ります。
 iキー・・・履歴を表示する場合に使用します。
 (最大10件まで可能)
 履歴10件の確認は、iのタップを繰り返します。
 iをタップすると、スワイプして現場画面(現場名、部屋名、箇所、品番)が表示します。
 → (B)
 送信キー・・・糊付機にデータを送信する場合に使用します。
 → (D)
 (※ATHLEAD FLEX LIMITEDに別売の通信ユニットが必要です。)

【現場の入力】(B)



<現場名>
 全角10文字の入力可能

<部屋名>
 全角4文字の入力可能

<箇所>
 全角4文字の入力可能

<品番>
 半角7文字の入力可能

[キーの説明]
 OKキー・・・現場名、部屋名、箇所、品番を保存します
 キャンセルキー・・・現場の入力画面を閉じて、採寸データ入力画面に戻ります。

【要尺設定の入力】(C)



<有効幅>
 整数3桁+小数1桁の入力可能

<切り代>
 整数3桁の入力可能

<ロス率>
 整数3桁+小数1桁の入力可能

<リピート↑>
 整数3桁+小数1桁の入力可能

<リピート→>
 整数3桁+小数1桁の入力可能

<m²単価>
 整数3桁の入力可能

<m³単価>
 整数3桁の入力可能

<リピートを考慮して計算>
 リピートを必要量の計算に考慮する場合に、チェックをつけます。

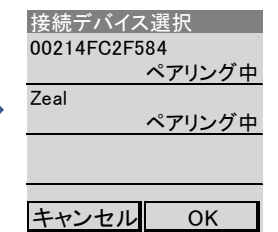
<計算結果に切り代を計算>
 切り代を必要量の計算に考慮する場合に、チェックをつけます。

<計算結果にロス率を加味>
 ロス率を必要量の計算に考慮する場合に、チェックをつけます。

<初期設定値>
 有効幅92.0cmで設定されています。

[キーの説明]
 OKキー・・・有効幅、切り代、ロス率、リピート↑、リピート→、m²単価、m³単価、3つのチェックボックスの状態を保存します。
 キャンセルキー・・・要尺設定の入力画面を閉じて、採寸データ入力画面に戻ります。

【データ送信の入力】(D)



※初めて使用する場合

送信する前に、最初にATHLEAD FLEX LIMITEDとBluetoothのペアリング設定が必要です。
 ①MENUボタン→設定→無線とネットワークを選択します。
 ②Bluetoothにチェックを入れます。
 ③Bluetoothデバイス検索をクリックします。
 (糊付機はBluetooth機器接続待機中にしておく必要があります。)
 ④糊付機のデバイス名称00XXXXXXXXXXXXが表示されたら、表示された所をダブルタップします。
 PINキー(パスキー)の入力メッセージが表示されたら0123を入力します。
 以上で設定は完了です。

<送信番号>
 1～99まで入力可能

[操作の説明]
 糊付機にデータ送信する場合は、Bluetooth設定をタップして、送信する糊付機を選択しOKをタップします。
 送信番号を入力し、OKをタップすると送信されます。